

たばたあずみ



Tel・Fax 550-6674

山根とみえ



Tel・Fax 550-4224

戸沢ひろゆき



Tel・Fax 558-9721

6月市議会

山根とみえ議員の一般質問

日本共産党の山根とみえ議員は、6月市議会の一般質問で（1）公共交通の充実（2）学童の通学路の安全対策について質問しました。以下、質問の要旨をお知らせします。

公共交通の充実を

バスが走っていない地域へ  
タクシー券の補助や小型車の運行を

路線バスも「るのバス」も走っていない地域への対策として、タクシー券の補助や小型車の運行が出来ないか質問しました。市は、昨年から盆堀地域で運行を始めた地域力を活用した方法の検討が必要と考えているので、タクシー券の補助は考えていないと答弁。他の地域でこうした方法を取り入れる見通しはあるのかとの質問に、今のところはないと答弁しました。

観光対策として交通網の整備を

市は26年度の施政方針で、観光のまちづくりをうたっています。観光地をめぐる路線バスを増やすことや、「るのバス」をもっと活用するよう提案しました。また、五日市憲法草案発祥の地、深沢家跡地へ小型車などの運行が出来ないか問いました。市は、観光のまちづくりを推進するためには、バス路線の充実が重要であるとしながらも、深沢家跡地への車の運行や、「るのバス」の活用は考えていないと矛盾した答弁をしました。

「るのバス」について

平成26年度中に折立地域に運行



折立地区の都道29号線の拡幅工事がほぼ完了した事により、草花地域の一部ルートの見直しを行うことになっています。折立地区の運行については、現在、警察署や道路管理者、バス

事業者と協議を進めている状況であり、26年度中に運行出来る予定であると答弁しました。

法律相談

7月24日（木）13時30分～15時

予約が必要です。市議団までご連絡ください。

当初の計画通り3コースに

平成11年11月に市が示した循環バスの基本方針では、計画路線として草花線、雨間・小川線、五日市線の3路線にし、運行間隔を1時間に一本、一周の所要時間は1時間以内とするとなっています。循環バス運行開始後14年になります。当初の基本方針に立ち返り早急にバスを増やし、増発・増便をするよう求めました。市は、今回も検討委員会の検討結果のとおり今後も1台で行くとそっけない答弁を繰り返しました。高齢化が進む中で、免許証を返上をする人も増える中「バスを増やして」との市民の切実な声に、市は真剣に耳を傾けるべきです。当市では仮にバスを3台に増やした場合、市の持ち出しは約3500万円と答弁しています。（本年3月予算委員会）山根議員は、税金の使い方が間違っていると、再度、早急な改善を強く求めました。

学童の通学路の安全対策を

南小宮橋周辺に信号機設置が

これまで、草花小学校の学童の通学路となっている南小宮橋周辺に手押し信号機の設置を求めてきました。今回その後進展があるのか質問すると、26年中に設置予定との答弁がありました。

永田橋周辺の安全対策を

公民館通りから永田橋までの歩道の拡幅の進捗状況については、26年3月末現在で43%と答弁。

問題となっている永田橋西側の砂利採石場付近の歩道の拡幅について買収が進まない理由について問うと、デリケートな問題と答弁。既に行き進んでいる崖側からでも早急に整備できないか問いました。市は今後、通学路の安全対策も含め関係機関にお願いしていきたいと答弁しました。山根議員は環境・観光都市をうたうあきる野の東の玄関口として、関係者一丸となって一刻も早い安全対策をとるよう強く求めました。



永田橋西側の狭い歩道